

西日本OBサッカー連盟(仮称) 設立総会開く

去る12月22日神戸市内国鉄元町駅前天神閣で開かれた第2回西日本OB大会懇親会場で、西日本OBサッカー連盟設立総会が開催されました。

この会はサッカー交歓会を通じてメンバーの心身の健康に寄与するとともに、相互の親睦に努め、併せて地域の少年サッカーの普及発展に寄与することを目的としている。

会員は概ね35歳以上のメンバーで組織するサッカークラブで、設立総会に出席したのは第2回西日本OB大会参加11クラブと金沢・熊本・刈谷・浜松の4クラブ計15クラブで、将来各地のOBクラブの参加を歓迎している。

設立総会で、①連盟規約(案) ②役員選出 ③初年度事業計画と予算等を審議した。

役員は次の通り決定した。

会長 玉井 操 (神戸FC)
副会長 島津資忠 (富山FC)
浜田良文 (えひめ四十雀)
理事長 加藤正信 (神戸FC)
理事 緒方健司 (熊本)
森藤輝夫 (岡山) 溝洲隆光 (香川)
水野隆 (名古屋) 喜多清 (金沢)
監事 河本春男 (神戸FC)
北川貞義 (神戸FC)

初年度事業は次の通り

1. 西日本全域大会
Aグループ (45歳以上、平均年令50歳以上) 4月27日 熊本
Bグループ (40歳以上、平均年令45歳以上) Cグループ (35歳以上、平均年令38歳以上) 11月 名古屋
2. 各地域 (九州中国四国関西東海北陸) 毎又は会員間の交歓は随時行なう。
3. 少年サッカー育成策助成、バッヂを作り配布する。

なお加盟チームのパンツの色を統一することを申し合わせた。すなわち60歳代赤、50歳代オレンジ、40歳代黄、30歳代白とし、特に70歳代は銀色、80歳代は金色と決め、金と銀色パンツは連盟で作り該当者に贈呈する。銀色パンツを贈られる方は次の三氏で金色はない。

玉井 操(神戸FC) 三浦豊(刈谷)
桃井俊一良(伊賀上野)

第2回西日本OB大会開く

去る12月22日、神戸市立中央球技場に西日本各地から、35歳以上のサッカー愛好者250名15チームが集い、第2回西日本OB大会を催した。

参加チームを、42歳以上平均年令50歳

以上のAグループと、35歳以上平均年令42歳以上のBグループに分け、各グループ毎にトーナメントで優勝を競った。

年令とともにパワーの衰えは致し方がないが、技の水準はさすが昔とった杵柄だけに大したもの。各試合とも伯仲した熱戦が展開した。Aグループはえひめ四十雀が1回戦で神戸FCと引分けたが、トスに勝ち、京都と決勝を争い3-1で優勝。Bグループは昭和20年代に全国社会人大会で7回連続優勝の偉業をとげた田辺製菓が当時のメンバーを集めて出場し、神戸FCと優勝戦で顔を合わせて、1-1で引分け両者優勝と決まる。

参加チームは次の通り

[Aグループ]

1 神戸オールドボーイズイレブンA

2 えひめ四十雀クラブ

3 伊賀上野オールドクラブ上忍チーム

4 名古屋500クラウドクラブA

5 京都クラブ

[Bグループ]

1 神戸オールドボーイズイレブンB

2 伊賀上野オールドクラブ中忍チーム

3 伊賀上野オールドクラブくの一チーム

4 名古屋500クラウドクラブB

5 富山フットボールクラブ(トスカ)

6 信州惑々クラブ

7 香川県選抜

8 岡山ベテランクラブ

9 田辺OBチーム

10 大阪スポーツマンクラブ少年サッカースクールおやじチーム

この大会の特色は、友好第一試合第二で運営されたことである。乱暴危険なプレーを厳禁し、ショルダーチャージもミニサッカー同様反則とした。18名以内の登録選手はいつでも交代自由で、しかも一旦退場した選手も疲労が回復すれば再度出場できることとした。なお第1試合は登録メンバーの高年者から順次出場することを決め、勝敗にこだわる余り年長者の出番がないという事態が起らないよう配慮した。又高年者向きに使用球は4号革貼りを建て前とした。

神戸FCOBは昭和48年2月以来岡山・広島・松江・福井・金沢・富山・松本・名古屋・清水・京都・伊賀上野・紀州新宮・高松・さぬき津田等を訪れ、更にこれから横浜・熊本・松山を訪問する予定だが、訪問先で必ず懇親会を持つこととしている。神戸FC訪問地チームを招く形のこの大会も試合の後で一味ちがうビールを楽しんだ。この度は中年以上のサッカークレージー 250 名が中華料理のテーブルを囲み、マイクを奪い合ってOBの団結を叫び、サッカー談議に花が咲くという日本サッカー史上曾ってない風景が展開した。

市社会人入替戦・各部昇格、陥落チーム

市社会人リーグ1・2部入れ替え戦が12月22日、神戸大学グラウンドで行われた。1部5位の川崎重工は残留、同6位の神戸市役所は陥落し、2部の兵庫朝鮮の1部昇格が決定した。

なお、1部7位の神戸ライオンと8位神戸製鋼の2部陥落および2部A・B各ブロックでそれぞれ優勝した神大同好会と葦合クラブの1部昇格はすでに決まっている。また、2部から3部への陥落チームはコーペアーベッツ、是則運輸、魚崎クラブ、須磨クラブ、三菱電機Aの5チーム。3部から2部への昇格チームは未定。

(第1試合)

神戸市役所A 2 (0-1) 4 兵庫朝鮮

入れ替え戦という一種独特の雰囲気の中で開始され、火花が飛びちる激しいプレーが随所に見られた。高い実力を持っている朝鮮は、オープンスペースに効果的なパスを出し早目にシュートを放ち優勢に試合を進めた。リーグ戦終了後チームの立ち直しをはかってきた市役所は、2点のハンディをもろともせず積極的な展開を試み、一時は同点に追いついたが、総合的にやや勝る兵庫朝鮮が加勢し市役所の猛反撃を振り切った。

(第2試合)

川崎重工3 (2-0) 2 神戸スポーツマンクラブ

川重はこの試合のために2カ月にわたる強化練習を行った。前半はほぼ川重のペースで進み、2点を先取したところで勝敗が決したかにみえたが、後半に入り神戸スポーツマンはベテランを中心にすごい闘志で反撃に出た。同点としたあとなおもシュートを川重ゴールにあびせたが、どうしてもゴールを割ることができなかった。終了間際になってチームワークにすぐれた川重は、驚野のゴール前へあげたクロスボールを小柄ながらチームきってのテクニシャン亀田がワントラップのちゴール右隅に決めた。

ボク中央球技場の「芝」です。グラウンド担当の福田さんから、2月は試合が全くないのでゆっくり休養するように言われました。昨年の春から約1年、ほとんど毎日曜日、選手の方々がボールを蹴ったり走ったりされましたから、正直いって本当に疲れました。ボクの体のあちこちにアザができています。3月には神戸サッカーカーニバルのメインイベント、ヤンマー対藤和不動産の試合があり、また3国対抗も予定されているそうですね。春になってあざやかな緑をみなさまでお見せできるよう、久しぶりに休ませていただきます。

◎ユニフォーム
◎パンツ
◎ストッキング
◎マーク

別注承り

勝利を呼ぶ3本線
adidas
トレーニングス
サッカーパンツ

日本総発売元 株式会社デサント
ADIDAS DIE WELTMARKE
MIT DEN 3 STREIFEN

TEL (078) 861-4671
◎アディダス・プーマ指定店
◎ヤンガー・モンブラン特約店
◎ヤスダ・ミツナガ・タイガー他
◎デサント・ジェレンク他



神戸のサッカー

『ボールは美しい女性』

清水市での指導を見学して

日本の少年サッカーを指導したベレ

1月21日清水市営グラウンドはベレの指導を受けるべく集まった少年は、

小学校低学年 (チャイルド)
小学校高学年 (ジュニア)
中学生 (清水選抜)
高校生 (清水東高校 全国高校選手権2位)
の4つのグループに分かれて約30分づつ2時間行なわれた。小学生にはボールコントロール
中学生にはゴールキーピング
高校生にはゲーム形式での実戦が指導された。

指導者は、ベレと一緒に来日したマゼー教授が説明しながらベレがデモンストレーションしたり子供達の中に入ってプレーしたり高校生の指導ではフリーキックの場面を設定して自分がキックして見せたりベレは大活躍した。又ベレの説明を通訳したもの言葉の中にボールに対する心構えの中でベレは次のような言葉を話している。

『ボールを美しい女性と思いなさい。大切にいたわりの心をもってあつかえばボールは自分から逃げない。やわらかく細心の注意をはらってボールをあつかいましょう。子供達にこの言葉が理解できたかどうかは疑問だがさすが情熱の国ブラジルのフットボーラーらしい言葉で楽しくもほえましい場面だった。

ベレの指導そのものは内容も一般的のものであったが参加した子供達はベレから直接指導を受けた感激は彼等のサッカーの大きな糧となるだろう。

次の機会にはぜひ神戸に来てもらいたいと思った。

育成協だより

昨年12月14日、兵庫県サッカースポーツ少年団育成協議会は県立神戸高校同窓会館で幹事会を開き、49年度の反省と50年度の事業計画を審議した。

県育成協とは、県内のサッカースポーツ少年団の全指導者をもって組織し、県市サッカー協会と密接な連絡を保ち、互に協力して少年サッカーの普及と振興をはかることを目的として、昨年3月生れた組織である。

設立総会に集まった県下各地区の少年サッカー育成担当代表者の顔振れを見ると、市サッカー協会の会長・理事長クラスがずらりと並び、各市ともサッカーの振興は少年から…との意気込みが窺え、頼もしい限りであった。県育成協の事業は、①県市サッカー協会の行う大会の運営に協力 ②優秀リーダ候補者の育成 ③指導者養成と研修の三つを大きな柱としている。

設立総会に出席した県サッカー協会瀬川理事長(現副会長)は祝辞の中で「県育成協と県サッカー協会は全く一体となって、少年サッカーの発展に努力する」ことを約束し、出席者は各自の胸に少年サッカーの将来に明るい希望の灯を灯し、足どり軽く家路についたのであった。

幹事会は49年度の反省からはじまった。県サッカー協会は県育成協の意向を汲んで49年度の大会運営を行ったが、県サッカー協会から末端チームへの連絡が十分に行われなかった点が一番問題になった。県サッカー協会の少年委員会は現在神戸・尼崎・淡路・竜野から委員が出ているが、少年チームのある西宮・芦屋・宝塚・伊丹・明石・東播・北播・姫路地区からは委員が出ていない。各地区協会が県協会の下部組織としてスタートして1年経っていないのだから無理はないが、県協会高砂理事長は近く是正を考慮している模様で、早い機会にこの隘路は打開される見通しである。

少年サッカー普及と振興上、最も重要な施策は指導者養成と研修である。静岡県県の少年サッカー指導者コー

ングスクールは全国一であるが、その結果には眼を見はるものがある。県育成協ではこの指導者研修と優秀リーダ候補者育成をかね昨年5月指導者と小学生代表の研修を神戸で行い、かなりの成果を挙げた。なお神戸市では49年度6カ月に亘り少年サッカー指導者コーチングスクールを開き、22名の受講者に指導者ワッペンを交付している。将来は各市育成協毎に少年サッカー指導者を育成できる講師を常置しよう県サッカー協会の配慮を望みたい。

50年度の事業として、次の通り計画

1. 優秀リーダ候補者 (小6) 育成と指導者研修大会 5月3日・4日 神戸
2. 県育成協総会 5月3日 神戸
3. 全日本サッカースポーツ少年団大会出場チーム選定大会参加 49年と同様
4. 第8回兵庫少年大会予選と県大会参加 県サッカー協会に要望事項
イ 年令別 49年度に同じ すなわち
1部(中2・3) 2部(中1以下) 3部(小6以下)
4部(小5以下) 5部(小3・4) 6部(女子中)
7部(女子小)
ロ 予選 各市地区協会毎リーグ戦10月12日までに終了
ハ 県大会
①4ブロック予選 10月26日まで
東部(尼崎・西宮・伊丹・宝塚) 中部(神戸・明石・三木・芦屋)
南部(淡路) 西部(高砂・姫路・御津・竜野・上郡・新宮)
②決勝大会 ()内予備日
1部2部11月9日(16日) 3部4部11月23日(24日)
5部 11月2日(3日) 6部7部11月9日(16日)
5 ニュース「神戸のサッカー」に県育成協だより欄の設定を要望
6 県育成協の会費 市町育成協の正会員年額1000円の会費のうち500円を県育成協に納入すること。

サッカーショップ

加茂

大阪店(大阪駅前第1ビル)へも
いちどお越しになりませんか

一流選手
が
談笑しています

神戸店 三宮・そごう百貨店5F



勝利を呼ぶ3本線
adidas
トレーニングス
サッカーパンツ

日本総発売元 株式会社デサント
ADIDAS DIE WELTMARKE
MIT DEN 3 STREIFEN

